

第31回横浜環境活動賞 **企業の部** 応募について

スケジュール

時期	内容
令和6年6月25日(火)～ 令和6年8月15日(木) 令和6年8月30日(金)	募集期間(必着) ※応募書類等の受領後、受領メールを差し上げます。
応募書類提出後～令和6年10月	・横浜市による書類体裁の確認 ※空欄がある場合や記載内容等の確認のため、ご連絡をさせていただく場合がございます。 ・横浜環境活動賞審査委員会による書類審査 ※今年度はプレゼンテーションを行いません。
令和6年12月～令和7年3月頃	表彰式

<提出・問合せ先>

8月30日(金)

~~8月15日(木)必着~~

- 郵送 〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10
横浜市みどり環境局環境活動事業課 (27階)
- Email mk-kyoiku@city.yokohama.lg.jp
※宛先やアドレスの間違いにご注意ください。
☆ 不明点があればお問合せください。(TEL 045-671-2484)

応募資格

- (1) 企業 横浜市内に事業所を有すること
- (2) 活動期間が、概ね3年以上あること(令和6年6月1日時点)
- (3) 行政からの委託事業は、審査の対象外
- (4) 過去の大賞受賞者は、応募・表彰の対象外

表彰の種類

- 【大賞】各部門からそれぞれ特に顕著な成績をおさめた1者 ※大賞を選出しない場合もあります。
【実践賞】顕著な環境活動を行っている方又は団体
【生物多様性特別賞】全応募者の中から生物多様性の保全・再生・創造に特に貢献している1者

応募にあたっての注意事項

※以下をよく読み確認の上、応募をお願いいたします。

- 応募用紙の記載内容のみで審査が行われます。
- 全ての欄に、詳細に活動内容を記載してください。
- 応募用紙に個人名・住所・電話番号等の個人情報は、一切記入しないでください。肖像権や著作権にも十分ご注意ください。
- 横浜市の有する情報の公開に関する条例第31条の規定により、「横浜環境活動賞審査委員会」は公開されます。その際、本応募用紙は連絡先等の個人情報を除き、傍聴者への配布資料となりますのでご了承ください。
- 応募用紙に空欄がある場合は、確認のご連絡をさせていただく場合があります。
- 応募用紙への記載だけでは表現しきれない活動・取組に関しては、補足資料を添付してください。(A4サイズ、10ページ以内)
- 応募書類は返却しません。ご了承ください。
- 提出いただいた応募書類・補足資料は、活動内容紹介のため、ホームページ上に公開させていただく場合があります。その際は、横浜市からご連絡いたします。
- 新型コロナウイルス感染症拡大により活動を休止していた期間がある場合は、その休止期間を除き、3年以上の活動実績について審査の対象となります。
- 提出後の応募書類は、修正できません。
- 応募用紙「3 事業活動において環境に配慮している取組、社会貢献活動」、「4 成果を上げている取組や先駆的・模範的な取組・事業」については、本社（グループ）の取組なのか、事業所独自の取組なのかを明記してください。
- 応募用紙「4 成果を上げている取組や先駆的・模範的な取組・事業」について特に成果を上げている取組や、他社に比べ特に先駆的・模範的だと考えられる取組・事業について、記入してください。あわせて、その理由を明記してください。（いくつ記入してもかまいません。）
- （参考）以下は、あくまで事例であるため、貴社の方針、取組内容に沿った形で記入してください。

「2 環境に対する企業理念の設定、管理体制」の例

(1)基本理念・自己宣言等	環境への取組について明文化した理念や自社基準、宣言、キャッチフレーズ等	
(2)環境マネジメントシステム関連	ア 認証等	ISO14001、エコアクション21等の取得状況など
	イ 組織体制	環境に配慮した企業活動推進のための専門の組織・人員の配置など
	ウ チェック機構	基準等に従った事業のチェック機構、トラブルへの適切対応など
	エ その他の取組	独自の環境マネジメントシステム、グリーン購入の推進、従業員に対する環境教育、下請・関連企業への公害防止対策の支援など
(3)取組結果等の公表・広報	環境報告書の発行、ホームページでの公表、その他市民向けのPRなど	

◆応募に必要な書類は、次のとおりです。チェック欄をご記入ください。

チェック欄には、書類ごとにページ数を記入してください。

書類名	チェック欄	備考
1. 応募用紙<必須：様式あり>	5 ページ	様式の変更不可 各記入欄の大きさの変更や削除、ページの追加等を行わないでください。文字の大きさは、10.5pt 以上で作成してください。
2. 補足資料（写真等）※1	ページ	A4サイズ 10 ページ以内 内容が分かるように、説明文を記入してください。
3. 前回受賞からの発展内容※2 <u>過去に実践賞を受賞し、再応募する方のみ</u>	ページ	A4サイズ 1 ページ以内
4. 定款または登記事項証明書<必須>	ページ	登記事項証明書は、現在事項証明書または履歴事項証明書（写し可）
5. 役員名簿<必須>	ページ	4に記載の場合、不要
6. 応募対象の活動に係る収支が分かる書類 （前年度分）<必須>	ページ	用意できなければ、前年度の収支決算書等

※1：応募用紙の記載内容の補足資料（写真等）があれば、添付してください（コピー可）。

※2：過去の実践賞受賞者は、前回の受賞内容から何が発展したのか、A4サイズ1 ページ以内にまとめた資料も提出してください。

【 応募者連絡先 】

所在地 (個人の方は、住所)	〒 _____	
担当者氏名(ふりがな)		
担当者連絡先 (日中に連絡がとれるもの)	【 TEL 】	【 FAX 】
	【 E-mail 】	

★ アンケート 本賞の募集について、どこで知りましたか。(複数回答可)

- ちらし(入手場所: _____)
 知人からの紹介 横浜市ホームページ
 その他(具体的に: _____)

(参考) チェックリスト

審査基準に記載されている内容が応募用紙に記入されているか確認するためのチェックリストです。
本チェックリストは、審査の対象外です。ご自由にお使いください。

評価項目	評価の視点	チェック欄
(1) 環境保全・再生・創造への効果	①効果 取組・活動の内容が、どれほど横浜の環境に好影響を与えているか。横浜の環境保全・再生・創造に対する効果があるか。	
(2) 取組姿勢、実績	①取組姿勢 事業所全体として前向きに取り組んでいるか。	
	②過去の実績 原則として3年以上の実績があり、今後の継続性も見込める活動であるか。実績についての点検や改善、公表がされているか。	
(3) 活動の特色	①地域社会等との連携、支援、参加 地域住民などと連携しながら、環境活動に積極的に取り組んでいるか。	
(4) 先駆性	横浜において先駆的な環境配慮型製品の開発・導入、取組などを行っているか。 ※全国的に実施例があっても、横浜において新たな活動であった場合には評価対象とする。	
(5) 模範性	他企業の模範となる活動であるか。(地域との連携等)	

【応募用紙】

★記載内容のみで審査が行われます。記入漏れがある場合は、審査に影響があります。

1 応募者概要

事業所	名 称	ふりがな：		
	代表者役職・氏名		従業員数	
	所 在 地	〒		
	ホームページアドレス			
	事業開始年月		環境への取組を開始した年月	
	事業内容			
	環境への取組について過去に受けた表彰等	(例) 横浜□□賞 (平成○年度)		
本社	名 称		所 在 地	
	総従業員数		資 本 金	

2 環境に対する企業理念の設定、管理体制

(1) 基本理念・自己宣言等

--

(2) 環境マネジメントシステム関連

	取組等の名称	内 容
認証等		
組織体制		
チェック機構		
その他の取組		

(3) 取組結果等の公表・広報

--

3 事業活動において環境に配慮している取組、社会貢献活動

- ※ 取組や活動を開始した年度も記載してください。
- ※ 内容欄のカッコ内の記載例は削除してください。

	取組・活動の名称	内 容
(1)環境に配慮した製品や技術開発、サービス等の提供・導入		(どのプロセス<例：企画・開発、原材料調達、製造過程、発送・配送、取引先の啓発等>でどのような環境配慮を行っているか記載してください。また、どのようなことが環境へ寄与しているか具体的に記載してください。)
(2)省エネ・CO2 排出量削減の取組		(例：省エネ型設備・再生可能エネルギー利用型設備の設置、節電・節水への取組、中水道（雨水・排水利用）の設置、エコマーク商品の購入、オフィスでの紙減量の取組、敷地内の緑化、アイドリングストップ・低公害車の導入、地球温暖化対策への取組など)

(3)廃棄物削減の取組		(例：3Rへの取組、マイクロプラスチック対策など)
(4)生物多様性保全等の取組		<p>※生物多様性特別賞の選考の参考とする欄</p> <p>(例：敷地内のビオトープ化・緑化・植樹、生態系に配慮した工事や設備設置、日本経団連「生物多様性宣言」に配慮した取組など)</p>
(5)社会貢献活動		(例：地域における環境保全等の取組、環境活動団体への出資・支援、環境関連イベントの企画・支援・参加、地域や子ども向けの環境教育など)
(6)その他		

4 成果を上げている取組や先駆的・模範的な取組・事業

5 今後の取組・活動方針

※次年度以降の目標や継続のための取組・活動方針も含めて具体的に記入してください。

6 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

【例】

- 最も注目してもらい・評価してもらいたい取組
- 一番成果があがっていると思う取組
- 他の企業と異なる強み・独自性
- 取組の過程で、どのような努力・苦勞があったか など